

Q13 現状維持が望ましいと思う理由			
年代	地域	性別	その他の理由(現状維持が望ましい) 自由記述
40代	栄町	女性	値上げをすると市バスとの差別化が難しいため。
70代	押立町	男性	私たちはまだいいのですが、交通弱者等の方々の支援さくとしても維持が望ましい。
30代	幸町	女性	運賃を値上げする場合は、頻度を30分に1本ではなく増やしてほしいです。今の頻度であれば100円がいいと思います。
30代	紅葉丘	女性	最寄駅に接続する際には別途コストが生じることや値上げした際の金額の妥当性が不透明なため
40代	紅葉丘	女性	子供利用するため
50代	紅葉丘	女性	ちゅうバス自体が地域の足代わりであるはずで、通勤通学に利用する目的では無いはずです。 東部地域は、市役所のある府中駅に行くには、バスでも電車でも必ず乗り換えしないと辿り着けません、ちゅうバスの多磨町ルートと朝日町ルートのお陰で時間がかかっても乗り換え無しで行けるのはありがたいです。 30分に一本だろうと辿り着くのには時間がかかろうとも利用しますよ。 狭い道を走るので車両を大きく出来ないから通勤通学には利用しないで欲しいです。 高齢ドライバーの問題が解決しないのは、本当に必要な路線が無くなって自分で運転するしかないが無理して運転しているからではないですか。 どうしてもちゅうバスの経費を負担するのが無理なら、いっそ府中市が西武多摩川線と京王線の交差する位置に駅を作ってみてはいかがでしょうか。 東部の利便性向上になるし、色々便利になって良いと思いますよ。
60代	紅葉丘	男性	時々使うので。
70代	紅葉丘	女性	高齢、体調により自転車に乗れないと買い物唯一の足にちゅうバスがなっています。 安いところで買い物暮らしている身としては、交通費が上がると厳しいです。

80代以上	紅葉丘	男性	市役所、銀行、病院(通院)、文化センター図書館、生涯学習センター、芸術劇場等を利用する為の 公共交通サービスだと思います。交通弱者の為にも現状維持が望ましい。 路線バス料金との差、ちゅうバスに乗らない方、ちゅうバスが通っていない処との差で不公平ということですが、 ちゅうバスは交通弱者の公共交通サービスであり、ちゅうバスが通っていない処の交通弱者には、別な交通サービスを検討する必要が有ると思いますが他はちゅうバスが利用出来れば利用すれば良いだけです。年々交通弱者(高齢者)は増える、バス運営費用は増加すると思います。京王バス任せでなく、市の重要交通インフラと考え市営バスとの位置づけで頑張りたい。サービスの質を下げない(負担増にならない)方法の一層の工夫をお願いします。 ちゅうバスへの補助金額を下げる方策ではなく、補助額を増やす努力(財政上の措置)もお願いします。
60代	四谷	女性	高齢者などちゅうバスを必要としている方にとっては、100円の運賃は利用しやすいので現状維持が望ましい。 ただし、路線バスへの対応や乗務員の待遇改善など、バス路線を維持するためには、値上げもやむを得ないが、 ICカード利用者ばかりではないので、値上げの際は高齢者にも分かりやすい100円単位の値上げが望ましいと思う。

70代	四谷	男性	値上げが必要かどうかは、まず値上げによって府中市の財政支出額(ちゅうバスの運営赤字額)が減るかどうかですが、値上げによって利用回数を控える市民の増加が懸念されます。 令和4年度の決算状況を見ると、乗車数は194万人強(バス料金収入は1億9400万円強)で補助金の金額は1億7500万円ですから、京王バスが計算する総費用は3億7000万円となります。 しかし、ちゅうバス開始時から補助金額は2億前後であり、あまり大きくは変動していません。 その内訳は、ちゅうバスの経費構造が残念ながら京王バスからは公表されないまま、随意契約で事業をお願いしているため不透明なままです。 一般的に経費は変動費と固定費に分かれ、ちゅうの場合はバス運行のための直接費用(変動費)と、本社や整備施設などバス会社としての固定費の路線への按分費用(固定費)があると思います。 本来はバス本体の費用(府中市の購入費または減価償却費)がありますが、ちゅうバススタート時からこの費用は通年の経費計算では計上されていません。 まず、固定費は目に見える費用の他に、会社全体の赤字も含んでいるようです。 ちゅうバスがスタートしたときは、京王バスは京王バス中央だったものが、現在ではグループ各社と一緒にの経営ですから、その影響もプラス・マイナスかはわかりませんが、それなりにあるのでしょうか。 そして、固定費の按分基準は京王バスさんでは、ちゅうバススタート時は路線の長さで決めていたと聞いています。 府中近辺では、四谷橋や石田大橋などを敷設するとき、橋の効果を試算するためにバス路線を通す前提で橋を作ることが一般的なようで、そうして走らせているバス路線は1日数本の場合もあり、最も赤字が大きくなる路線のようですが、運行本数は減らしても全く無くすことは許認可庁である国土交通省などの関係でなかなか難しいようです。 また、ちゅうバスの乗車率のグラフも開示されていますが、その中で最も乗車率が高いのは四谷6丁目ルートとなっています。 この路線を開始するときは、住民が府中市内でも少ない地域でどうしても赤字が増えるとして、当時の事務局からは反対の声が強かったにもかかわらず、実際に運行するとその後ルートの一部変更はあったものの、最も乗車率が高いということは、赤字も最も少ないということではないでしょうか。 ちゅうバスは運行時間が通常の通勤時間帯は運行しない前提で組まれていますし、四谷6丁目ルート周辺には以前から各種事業所も点在し、その利用もあるのではないかと、との見通しもありましたが、各事業所も自社専用バスの運行を継続しているところも多
-----	----	----	---

			く、朝8時には出社し、退社は夜6～9時頃になるところも多く、終日営業の事業者も少なくありません。 したがって、ちゅうバスの四谷6丁目ルートに乗車率の高さは、別のところにその理由を求めることが妥当でしょう。 まず、考えられることは、以前四谷循環の名前で運行してきた京王バスの運行が昼間は9:15～16:20に運行はなく、朝夕に運行は集中しており、住民にとって不便な度合いが増えたこと、京王バスとしての値上げもちゅうバス開始後2回ほど行なって、料金の違いがより鮮明になっているとも挙げられるでしょう。 府中市の説明資料ではわかる範囲での全体の姿は垣間見えるものの、ちゅうバスをどうすれば市民の福祉の維持向上につながる施策かが見えません。 交通弱者への交通手段の提供、交通不便地域の解消がメインであるとすれば、他の施策の費用対効果も比較しながらどうしていくかが論じられるべきだと考えます。 また、当初は京王線府中駅周辺の賑わいを目的と挙げていましたが、府中市は14も鉄道のある基礎自治体です。 それぞれの地域に分かれてそれぞれ賑わいをみせることが可能なのだと考えますし、こうした「まちおこし」の施策は結果として市民(消費者)が選択するものだと考えています。 スタート時とは違い、2024年問題で運転手の労働条件(労働時間)をどうやって確保するかという問題はありますが、かつてはちゅうバスの運転手の賃金を正規雇用の3/4で募集していた時期もありましたが、今はそんなことはなとは思いますが、具体的に何が問題になっているかが見えません。
50代	市 外	男性	大きな意味で行政サービスであり、収支よりも住民の利益が優先されるべきであると考えてるので。 他の民営バスを圧迫しない程度で安い方が良い。
60代	若松町	男性	最寄り駅接続で路線長を短くする案とセットを推しているから。
50代	住吉町	回答しない	地域交通と鉄道との汎用を考えると、100円と言う金額が、高齢者だけでなく、子育て世代にも現実的な金額であると考え
40代	小柳町	女性	地域のコミュニティーバスなので、せめて運賃値上げはしてほしくない。また、30分間隔だと全然合わないの。
40代	小柳町	男性	実質賃金が減っているため。
30代	是 政	女性	是政循環が民営化するのなら、乗らなくなるかもしれない。コミュニティバスのほうが親しみやすくて乗りやすい。

40代	是 政	男性	府中市の税金の使い道や財政状況を把握していないので、値上げがやむを得ないかどうかを判断出来ない。(もしかしたら、他の補助金を廃止してでもちゅうバスの補助金を上げたほうが良いものなどがあるかもしれないので、ちゅうバス事業だけではなく税金の使い道なども説明がないと判断出来ない。)
40代	是 政	男性	貧富の差がある現状を鑑みて 但し廃線になるなら値上げ止む無し
50代	是 政	女性	交通弱者が、シルバーバスを使えるようにすれば値上げ有り。市内に大企業があるのに高齢者に優しい行政にしなければ不信になる。 値上だけで解決しようとせず、収益増になるルートを開拓するなどの工夫が必要。
80代以上	西原町	回答しない	コミュニティーバスは、高齢社会にあって車や自転車から切り替えた市民の足としての目的が最大だと思う。 気やすく、外出機会を増やすことで元気なお年寄りを増やすのが、財政運営上正解になると考える。
20代	浅間町	女性	わざわざ運賃の高い京王バスに乗らないためにちゅうバスを利用しているから
50代	浅間町	男性	通勤に使うため。こうれいしにはシルバーバスがある。
50代	多磨町	男性	Q12の設問はどうかと思う。年10回は無料とか、月4回は無料とか思い切った提案が出来るモノを考えて欲しい。年1000円で乗り放題でも良い。
60代	多磨町	男性	路線バスが走っていない地域はちゅうバスしか利用出来ない。年金生活者が多く、値上げはしない方が宜しい。
50代	朝日町	女性	市が運営するコミュニティーバスなので交通弱者が利用出来る金額設定にして欲しい。
30代	天神町	女性	交通弱者の利用のしやすさを考慮する必要があると感じるため。
40代	天神町	女性	走行区間を短くして料金は据え置きが良い
20代	東芝町	女性	値上がりするなら京王バスに乗る
20代	東芝町	女性	身内に障害者があり、家の近くに停まるちゅうバスを利用している。所得制限にひっかってタクシー券はもらえないので運賃はこのままであってほしい。
60代	東芝町	男性	私は普段利用することがないが、高齢者や子供が利用する場合追加の負担は極力避けるべきと考えているから。
50代	南 町	女性	IC カードを持っていない方の乗車の場合、現金払いだと端数を財布から探して払ったり、お釣りを必要とする回数が増え、乗車する時に時間がかかり、時刻表通りに動けなくなってしまう。遅れれば事故のもととなりそう。 値上げするのであれば、朝夕に1本ずつ早いものと遅いものを増設してほしい。 縦の路線を増やして欲しい。 上記のように全員に目に見えてわかるようなサービスが増え、値上げにも反対意見は出なくなると思う。

30代	日新町	女性	バスが小さく、雨の日は利用者が多く立っているのがやっというレベルのぎゅうぎゅう詰め状態。 今以上の運賃になると割に合わない。
30代	白糸台	女性	ひとり親世帯で、物価高で出費が多くなっており、なるべく運賃が安い方がありがたいと思っています。
50代	白糸台	女性	市バスより安い方が好ましい。コミュニティバスなので。
50代	白糸台	女性	直接的に市民のためになる事にこそ税金をかけてもらいたいから。
60代	白糸台	女性	高齢者・障害者ではあるが、割引や無料バスが使えないためその分の経費と併せて明示してもらわないと選択出来ない。
60代	白糸台	男性	まだ高齢者でもないし、仕事も引退してないが、今後のことを考えると運賃の値上げはなるべく避けたいから
40代	美好町	女性	交通弱者の方が多く利用できるため
70代	美好町	女性	ちゅうバスは前払いなので、乗車してバス内でお財布等しまえるので助かります。 足が悪いため、家族が付き添うことが多いので、100円はありがたいです。
70代	美好町	女性	障害者手帳などはないが、高齢者で、足腰が弱くなっているため、 利用できる区間は出来るだけ利用したい。 また、同じ府中市内に行くのにも、ちゅうバスから一般バスや電車に乗り継がなければ ならない事も多いので出来るだけちゅうバスの料金は上げないで頂きたい。
30代	分梅町	女性	家族で使用すると支出が大きくなるため
70代	北山町	女性	市役所や片町文化センター等利用しやすいので助かる。北山町は高齢者、足の悪い方等多く市のはずれなので、できるだけ現状維持が望ましい！是非とも暖かい配慮をお願いします。コミュニティーバスの本来の主旨、弱者救済！細い人権への配慮等、他市に誇れる中バスであって欲しい。
70代	北山町	女性	すくない年金生活者にとって100円で乗車できるのはほんとうに助かります。
80代以上	北山町	女性	利用券を買っていつもつかっているからべんりでいい毎日利用しているのが多いからべんりでいいとでもつかっている。ちゅうバスをなくさないでほしい。府中駅までよく利用しているのでなくさないでほしい。いつもつかっているのでなくさないで下さい。
80代以上	北山町	女性	高齢者がひきこもらない為にも運賃が安ければ外出する機会も増えると思う。高くなるとひかえてしまう可能性がある。
80代以上	北山町	男性	100円で払いやすい！

80代以上	北山町	女性	13 年前 U ターンして田舎暮らしをしました。しかし年々過疎になり再上京いたしました。 ちゅうバスが通るようになっておりとてもうれしく思いました。車の免許証も返納して病院通い買い物と利用させていただいております。確かに私共の地域では乗客の数が減少しています。いつかはこのような問題が生じてくるのではと案じておりました、近くにスーパーもなくバスも通らなくなると年寄りには厳しい状況が続くのでしょうか。
80代以上	北山町	女性	腰痛のため
80代以上	北山町	男性	住民のためのバスのはず値上げはダメ
40代	本宿町	女性	100 円が手頃で使いやすいです。残念ながら、不景気で色々なものが値上げで厳しいので、できれば現状維持でお願いしたいと思います。 ただ、人員不足やガソリン代もあるので、やむを得ない値上げは受け入れる心算はしています。 例えば 70 歳以上と小学生は 100 円。それ以外の人は 150 円ぐらいでしょうか。IC なら半端な金額でも対応可能です。 または距離に応じて金額が変わるゾーン制とかでしょうか。
70代	本宿町	男性	便数を増やす路線の選定が必要。 利便性をアップし、売上事態の拡大を狙えば良い。
40代	矢崎町	男性	自分自身は利用しないが矢崎界限の高齢者、身障者、子供が利用しやすい料金にしてほしい。
40代	緑 町	男性	運行距離が短いため